

介護予防・日常生活圏域二一ズ調査 調査結果

○調査概要

対象者：市内に居住する65歳以上の高齢者のうち、一般高齢者、
要支援1・2の認定者

（「一般高齢者実態調査」対象者を除く）

サンプル数：3,000人（日常生活圏域の人口割合に応じて抽出）

回答者数：1,913人（回答率：63.8%）

調査方法：質問用紙による郵送方式

調査期間：令和8年2月18日から令和8年3月10日まで

| 区分 | 配布数 | 回答数 | 回答率 |
|-------|-------|-------|-------|
| 一般高齢者 | 2,800 | 1,780 | 63.6% |
| 要支援1 | 100 | 65 | 65.0% |
| 要支援2 | 100 | 68 | 68.0% |
| 合計 | 3,000 | 1,913 | 63.8% |

| No. | 日常生活圏域 | 区分 | 配布数 | 回答数 | 回答率 | No. | 日常生活圏域 | 区分 | 配布数 | 回答数 | 回答率 |
|-----|--------|-------|-----|-----|--------|-----|-------------|-------|-----|-----|--------|
| 1 | 郡山北部 | 一般高齢者 | 138 | 91 | 65.9% | 11 | 三穂田 | 一般高齢者 | 46 | 27 | 58.7% |
| | | 要支援1 | 5 | 4 | 80.0% | | | 要支援1 | 2 | 1 | 50.0% |
| | | 要支援2 | 5 | 4 | 80.0% | | | 要支援2 | 2 | 2 | 100.0% |
| | | 合計 | 148 | 99 | 66.9% | | | 合計 | 50 | 30 | 60.0% |
| 2 | 郡山中央 | 一般高齢者 | 145 | 95 | 65.5% | 12 | 片平 | 一般高齢者 | 60 | 41 | 68.3% |
| | | 要支援1 | 5 | 4 | 80.0% | | | 要支援1 | 2 | 2 | 100.0% |
| | | 要支援2 | 5 | 3 | 60.0% | | | 要支援2 | 2 | 1 | 50.0% |
| | | 合計 | 155 | 102 | 65.8% | | | 合計 | 64 | 44 | 68.8% |
| 3 | 郡山南部 | 一般高齢者 | 211 | 130 | 61.6% | 13 | 喜久田 | 一般高齢者 | 88 | 53 | 60.2% |
| | | 要支援1 | 8 | 5 | 62.5% | | | 要支援1 | 3 | 1 | 33.3% |
| | | 要支援2 | 7 | 4 | 57.1% | | | 要支援2 | 3 | 2 | 66.7% |
| | | 合計 | 226 | 139 | 61.5% | | | 合計 | 94 | 56 | 59.6% |
| 4 | 郡山西部 | 一般高齢者 | 115 | 79 | 68.7% | 14 | 日和田 | 一般高齢者 | 84 | 54 | 64.3% |
| | | 要支援1 | 4 | 2 | 50.0% | | | 要支援1 | 3 | 2 | 66.7% |
| | | 要支援2 | 4 | 3 | 75.0% | | | 要支援2 | 3 | 2 | 66.7% |
| | | 合計 | 123 | 84 | 68.3% | | | 合計 | 90 | 58 | 64.4% |
| 5 | 芳賀・小原田 | 一般高齢者 | 177 | 116 | 65.5% | 15 | 西田 | 一般高齢者 | 47 | 36 | 76.6% |
| | | 要支援1 | 6 | 4 | 66.7% | | | 要支援1 | 1 | 1 | 100.0% |
| | | 要支援2 | 6 | 4 | 66.7% | | | 要支援2 | 2 | 1 | 50.0% |
| | | 合計 | 189 | 124 | 65.6% | | | 合計 | 50 | 38 | 76.0% |
| 6 | 富田 | 一般高齢者 | 289 | 171 | 59.2% | 16 | 富久山 | 一般高齢者 | 263 | 160 | 60.8% |
| | | 要支援1 | 11 | 5 | 45.5% | | | 要支援1 | 9 | 7 | 77.8% |
| | | 要支援2 | 10 | 9 | 90.0% | | | 要支援2 | 10 | 4 | 40.0% |
| | | 合計 | 310 | 185 | 59.7% | | | 合計 | 282 | 171 | 60.6% |
| 7 | 大槻 | 一般高齢者 | 108 | 68 | 63.0% | 17 | 湖南 | 一般高齢者 | 48 | 28 | 58.3% |
| | | 要支援1 | 4 | 4 | 100.0% | | | 要支援1 | 2 | 1 | 50.0% |
| | | 要支援2 | 4 | 2 | 50.0% | | | 要支援2 | 1 | 1 | 100.0% |
| | | 合計 | 116 | 74 | 63.8% | | | 合計 | 62 | 30 | 48.4% |
| 8 | 逢瀬 | 一般高齢者 | 47 | 26 | 55.3% | 18 | 熱海 | 一般高齢者 | 66 | 40 | 60.6% |
| | | 要支援1 | 2 | 1 | 50.0% | | | 要支援1 | 2 | 1 | 50.0% |
| | | 要支援2 | 2 | 2 | 100.0% | | | 要支援2 | 3 | 1 | 33.3% |
| | | 合計 | 51 | 29 | 56.9% | | | 合計 | 71 | 42 | 59.1% |
| 9 | 大成・大槻東 | 一般高齢者 | 225 | 148 | 65.8% | 19 | 田村 | 一般高齢者 | 176 | 111 | 63.1% |
| | | 要支援1 | 8 | 7 | 87.5% | | | 要支援1 | 6 | 4 | 66.7% |
| | | 要支援2 | 8 | 4 | 50.0% | | | 要支援2 | 7 | 6 | 85.7% |
| | | 合計 | 241 | 159 | 66.0% | | | 合計 | 189 | 121 | 64.0% |
| 10 | 安積 | 一般高齢者 | 295 | 188 | 63.7% | 20 | 郡山東部 ・中田 | 一般高齢者 | 172 | 118 | 68.6% |
| | | 要支援1 | 11 | 7 | 63.6% | | | 要支援1 | 6 | 2 | 33.3% |
| | | 要支援2 | 10 | 8 | 80.0% | | | 要支援2 | 6 | 5 | 83.3% |
| | | 合計 | 316 | 203 | 64.2% | | | 合計 | 174 | 125 | 71.8% |

○調査結果内容

厚生労働省「見える化システム」による

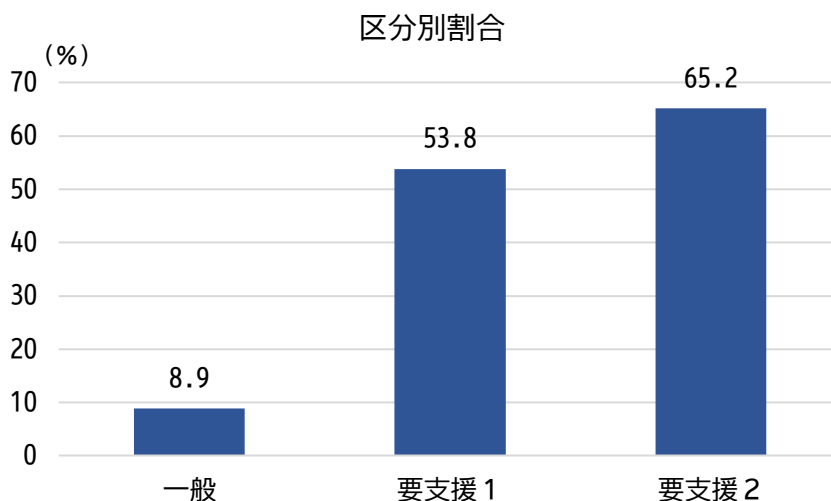
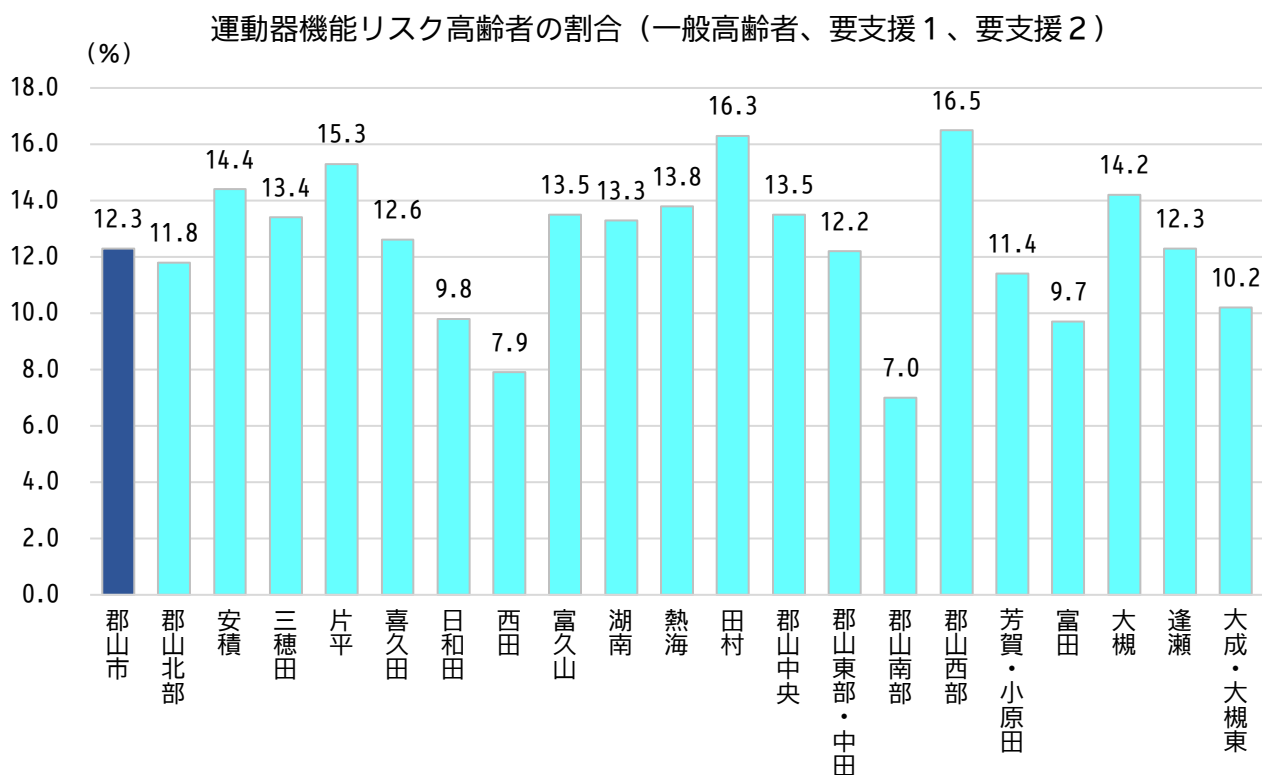
※見える化システムによるデータは、65歳以上の高齢者人口、調査人数、回答者数、回答率、各質問項目への回答内容等により推計される割合となっており、実際の回答者数や割合とは異なります。

※国から7月に推計ツール確定版が提供される予定です。

現時点では推計ツール暫定版の数値となります。

1. 運動器機能リスク高齢者の割合
2. 栄養改善リスク高齢者の割合
3. 咀嚼機能リスク高齢者の割合
4. 閉じこもりリスク高齢者の割合
5. 認知症リスク高齢者の割合
6. うつりリスク高齢者の割合
7. IADLが低い高齢者の割合
8. 転倒リスク高齢者の割合
9. 2019年度・2022年度調査結果との比較
10. 人生の最終段階における医療・介護の在り方について

1. 運動器機能リスク高齢者の割合【暫定版】



運動機能リスク高齢者の割合は、当該地域内の「運動機能リスク高齢者」（推計値）を、当該地域内の「要支援2以下の高齢者数」で除したものを意味します。

下記の設問・選択肢で3問以上選択した場合が該当

問2 (1) 階段を手すりや壁を伝わずに上っていますか 「3.できない」

問2 (2) 椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか 「3.できない」

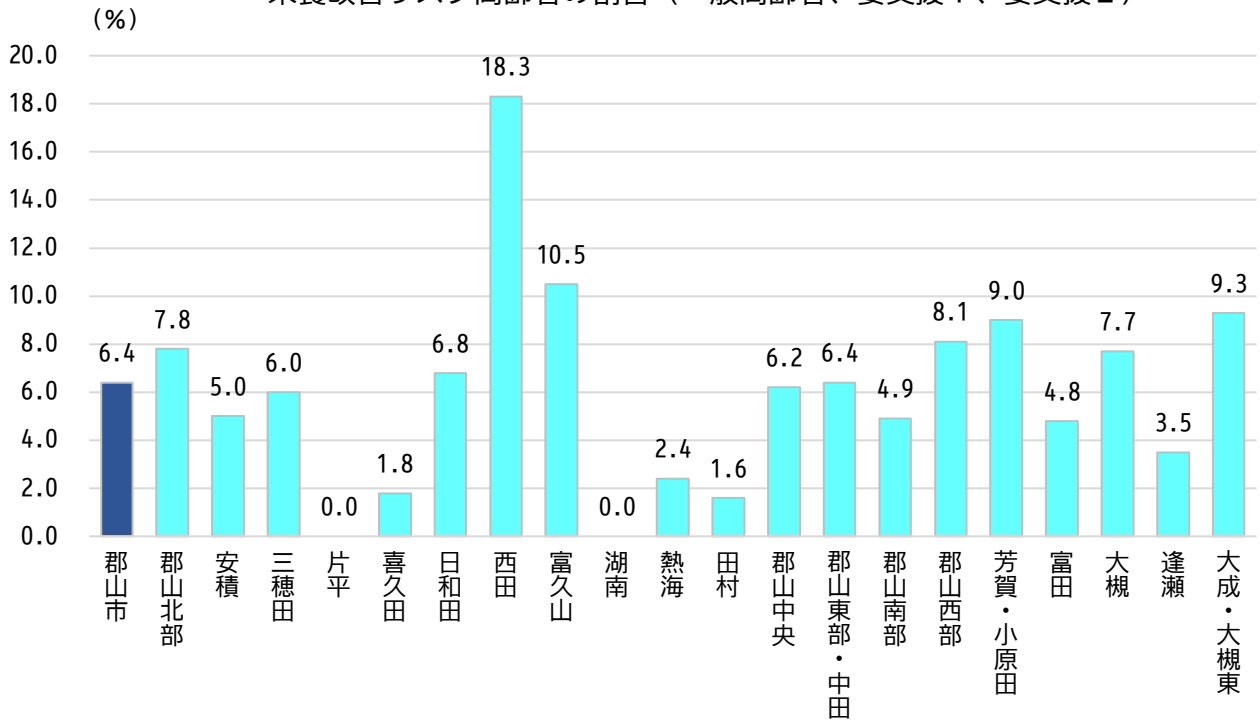
問2 (3) 15分くらい続けて歩いていますか 「3.できない」

問2 (4) 過去1年間に転んだ経験がありますか 「1.何度もある」 or 「2.1度ある」

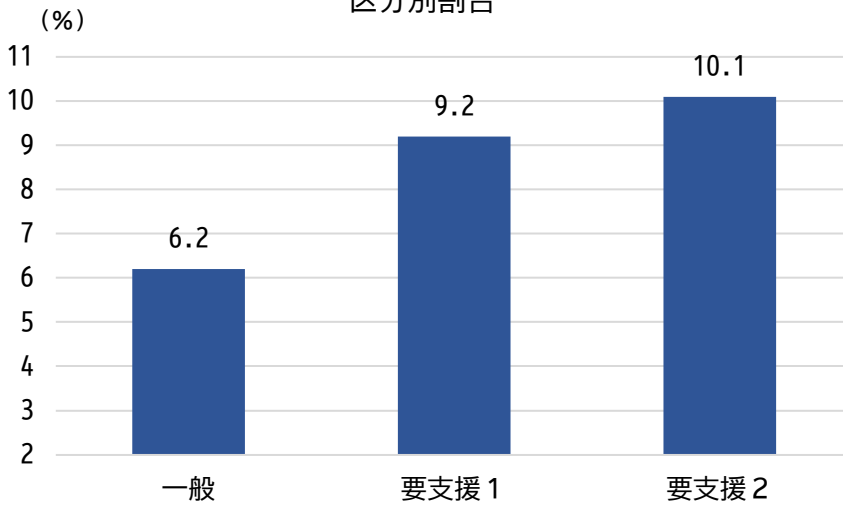
問2 (5) 転倒に対する不安は大きいですか 「1.とても不安である」 or 「2.やや不安である」

2. 栄養改善リスク高齢者の割合【暫定版】

栄養改善リスク高齢者の割合（一般高齢者、要支援1、要支援2）



区分別割合



栄養改善リスク高齢者の割合は、当該地域内の「栄養改善リスク高齢者」（推計値）を、当該地域内の「要支援2以下の高齢者数」で除したものを意味します。

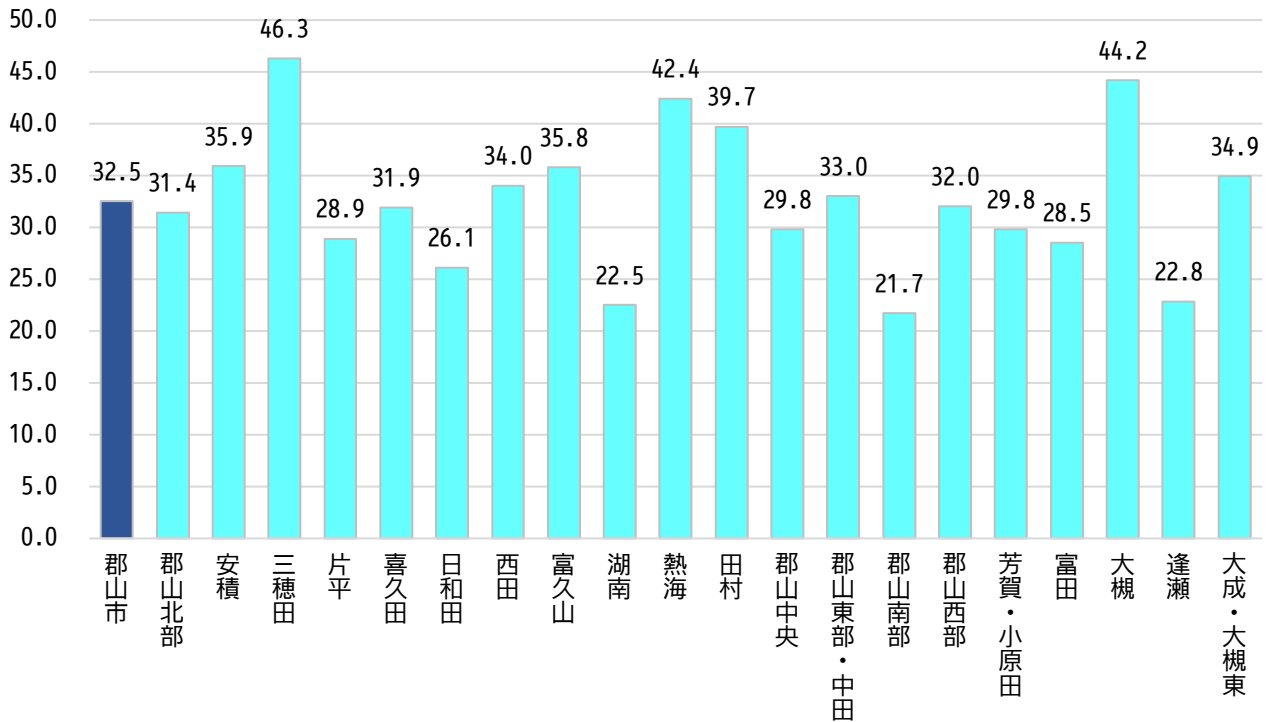
下記の設問・選択肢のいずれにも該当した場合が該当

問3 (1) BMI (体重 (kg) ÷ {身長 (m) × 身長 (m)}) < 18.5

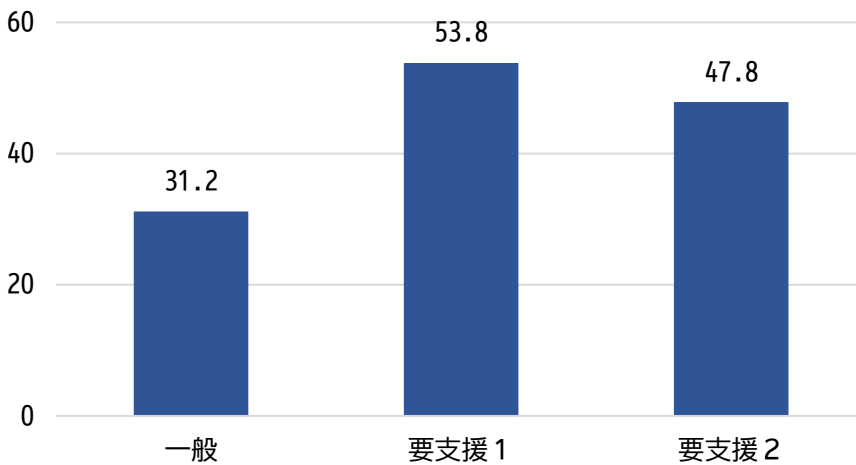
問3 (7) 6か月間で2～3kg以上の体重減少がありましたか 「1.はい」

3. 咀嚼機能リスク高齢者の割合【暫定版】

(%) 咀嚼機能リスク高齢者の割合（一般高齢者、要支援1、要支援2）



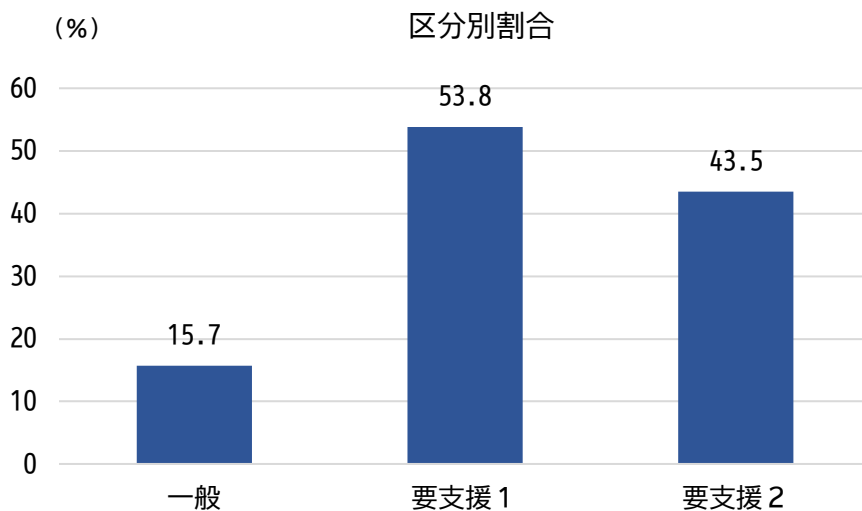
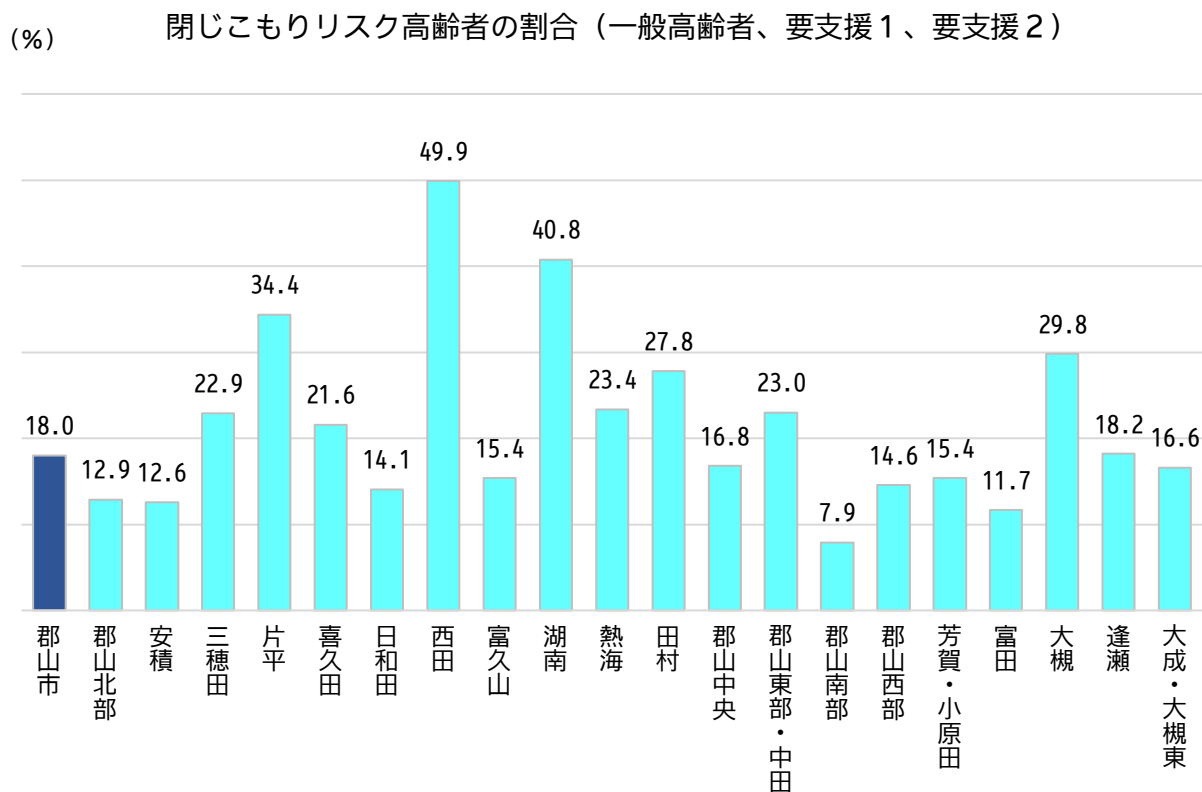
(%) 区分別割合



咀嚼機能リスク高齢者の割合は、当該地域内の「咀嚼機能リスク高齢者」（推計値）を、当該地域内の「要支援2以下の高齢者数」で除したものを意味します。

- 下記の設問・選択肢の2つ以上を選択した場合が該当
- 問3 (2) 半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか 「1.はい」
 - 問3 (3) お茶や汁物等でむせることがありますか 「1.はい」
 - 問3 (4) 口の渇きが気になりますか 「1.はい」

4. 閉じこもりリスク高齢者の割合【暫定版】



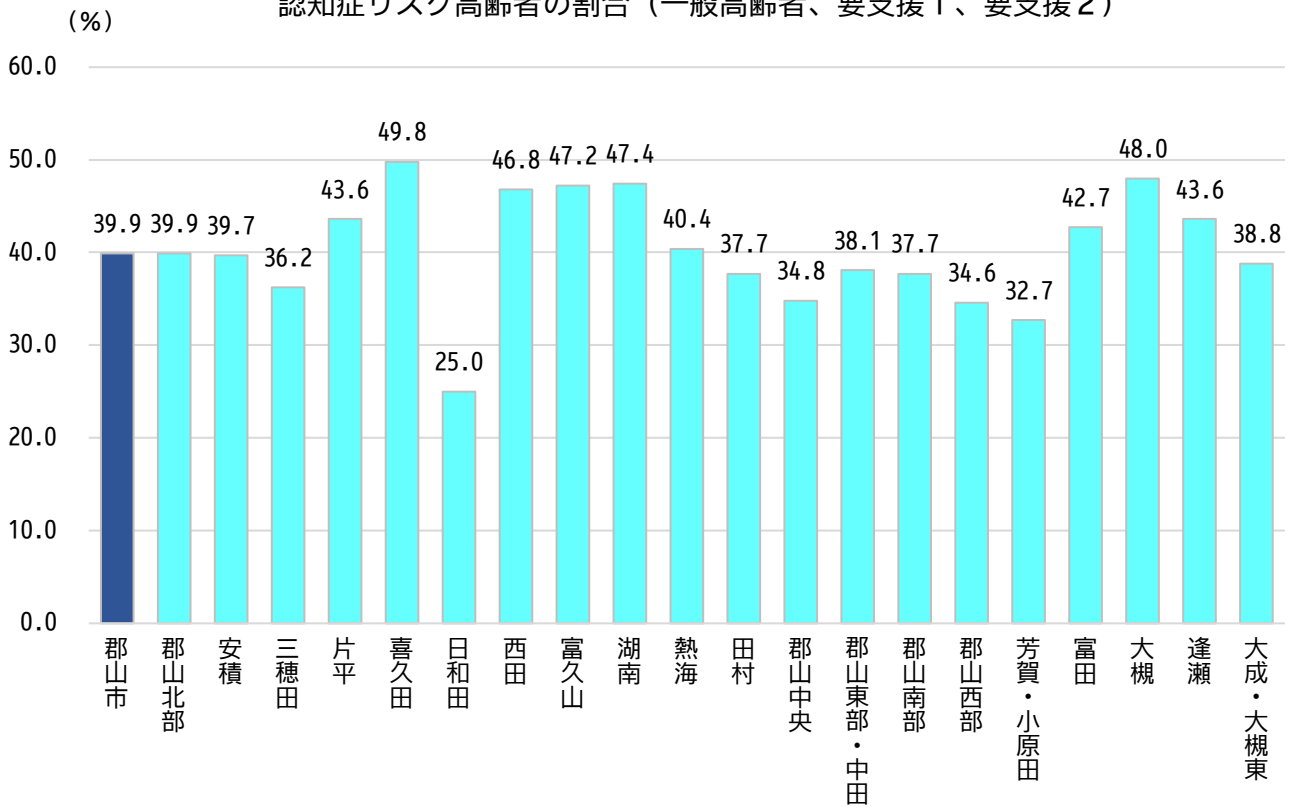
閉じこもりリスク高齢者の割合は、当該地域内の「閉じこもりリスク高齢者」（推計値）を、当該地域内の「要支援2以下の高齢者数」で除したものを意味します。

問2（6）週に1回以上は外出していますか

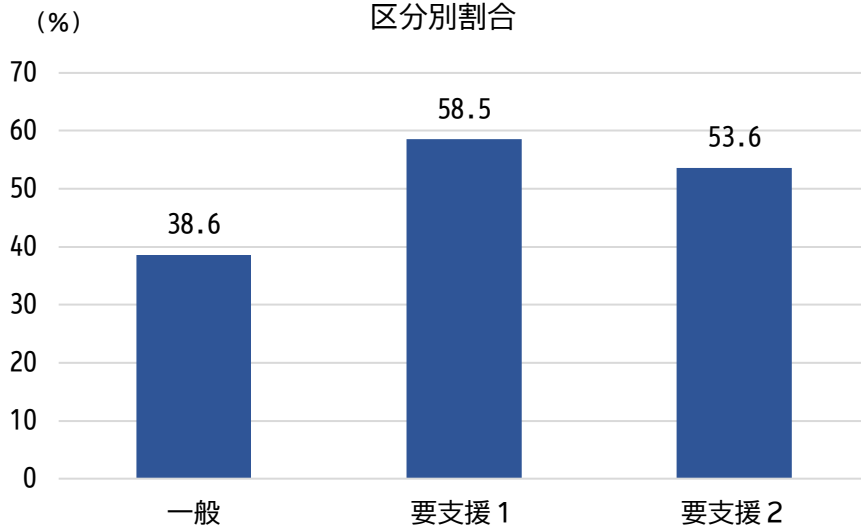
「1.ほとんど外出しない」or「2.週に1回」に該当する場合は該当

5. 認知症リスク高齢者の割合【暫定版】

認知症リスク高齢者の割合（一般高齢者、要支援1、要支援2）



区分別割合

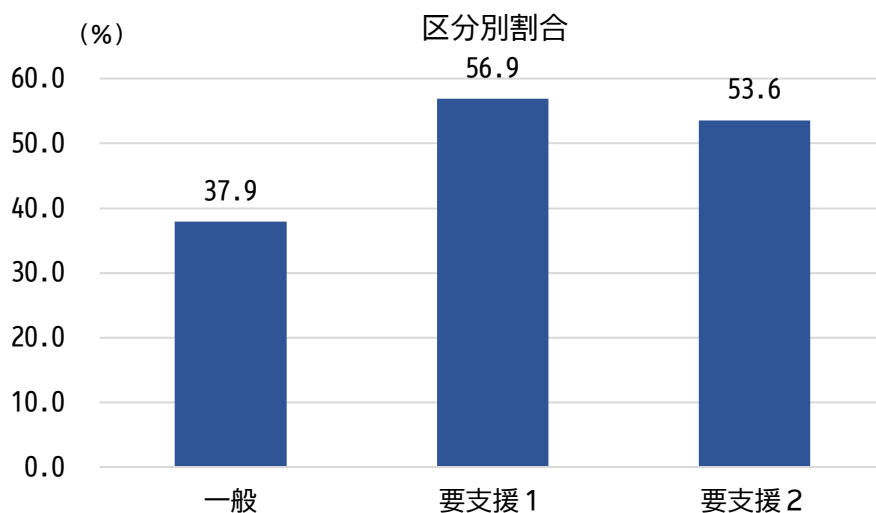
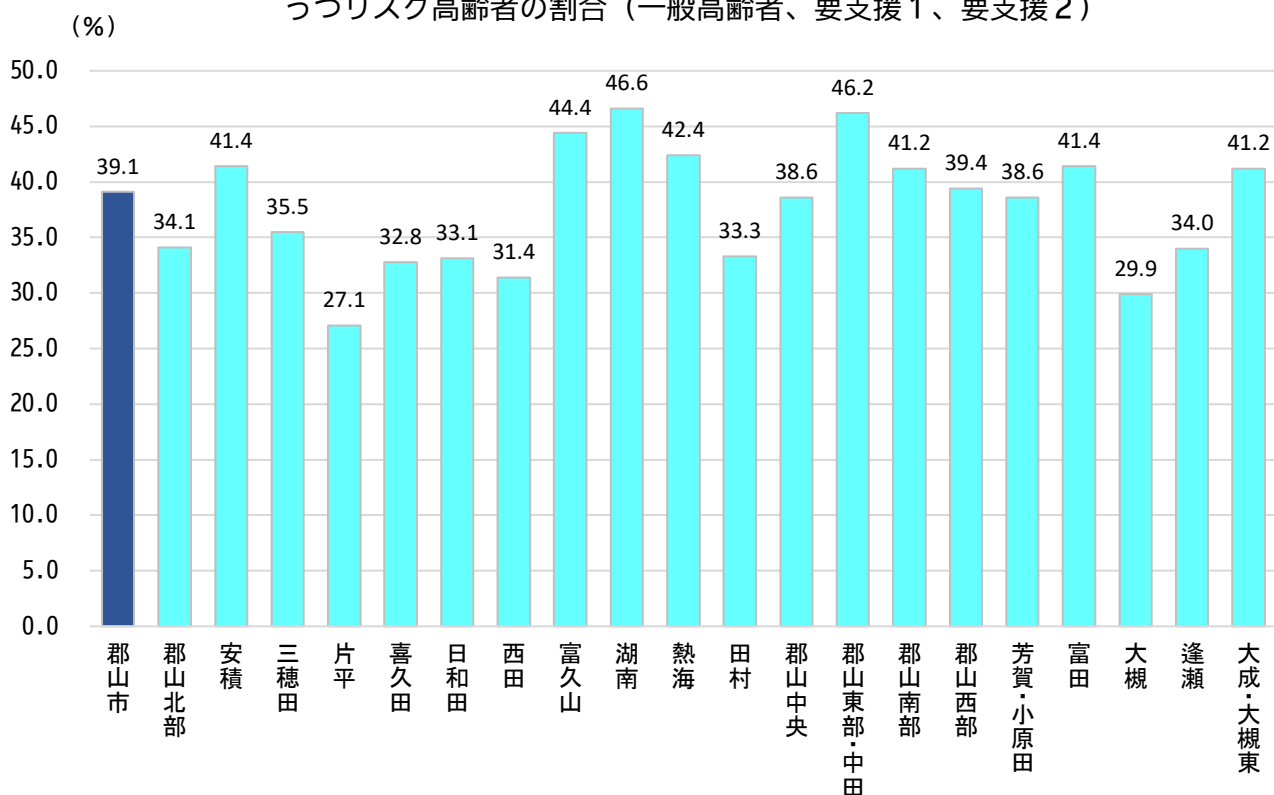


認知症リスク高齢者の割合は、当該地域内の「認知症リスク高齢者」（推計値）を、当該地域内の「要支援2以下の高齢者数」で除したものを意味します。

問4（1）物忘れが多いと感じますか 「1.はい」に該当する場合は該当

6. うつリスク高齢者の割合【暫定版】

うつリスク高齢者の割合（一般高齢者、要支援1、要支援2）



うつリスク高齢者の割合は、当該地域内の「うつリスク高齢者」（推計値）を、当該地域内の「要支援2以下の高齢者数」で除したものを意味します。

下記の設問・選択肢でいずれか1つでも選択した場合は該当

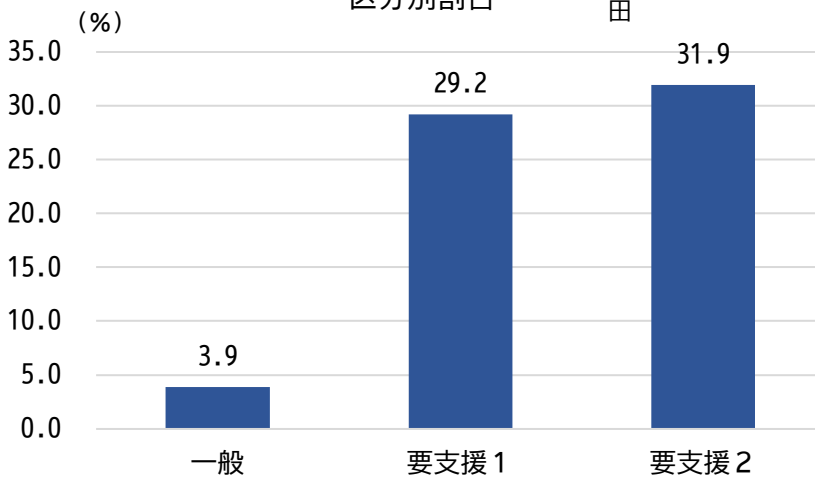
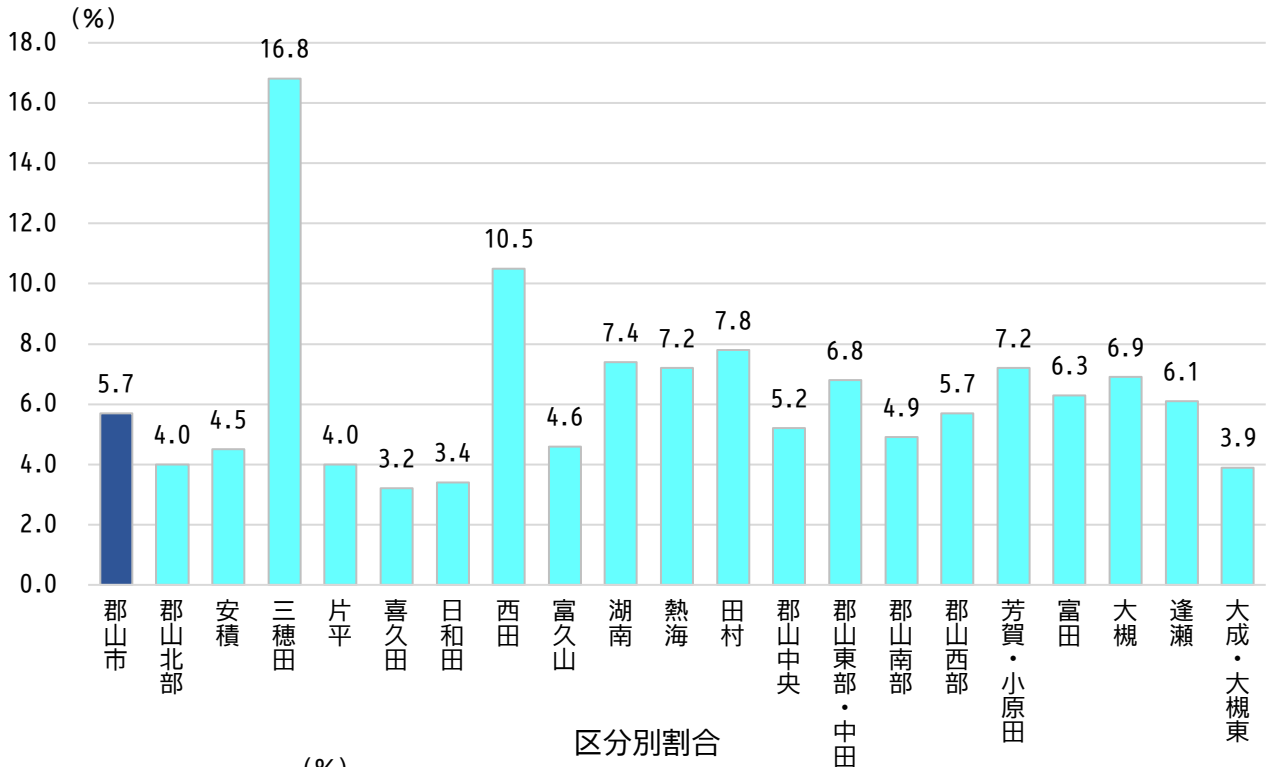
問8（3）この1か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがありましたか 「1.はい」

問8（4）この1か月間、どうしても物事に対して興味がわかない、あるいは心から楽しめない感じがよくありましたか 「1.はい」

7. IADLが低い高齢者の割合【暫定版】

※ IADL：手段的日常生活動作（instrumental activity of daily living）の略
 買い物、調整、電話、財産管理、乗り物等の日常生活上の複雑な動作がどの程度可能かを示す指標

IADLが低い高齢者の割合（一般高齢者、要支援1、要支援2）

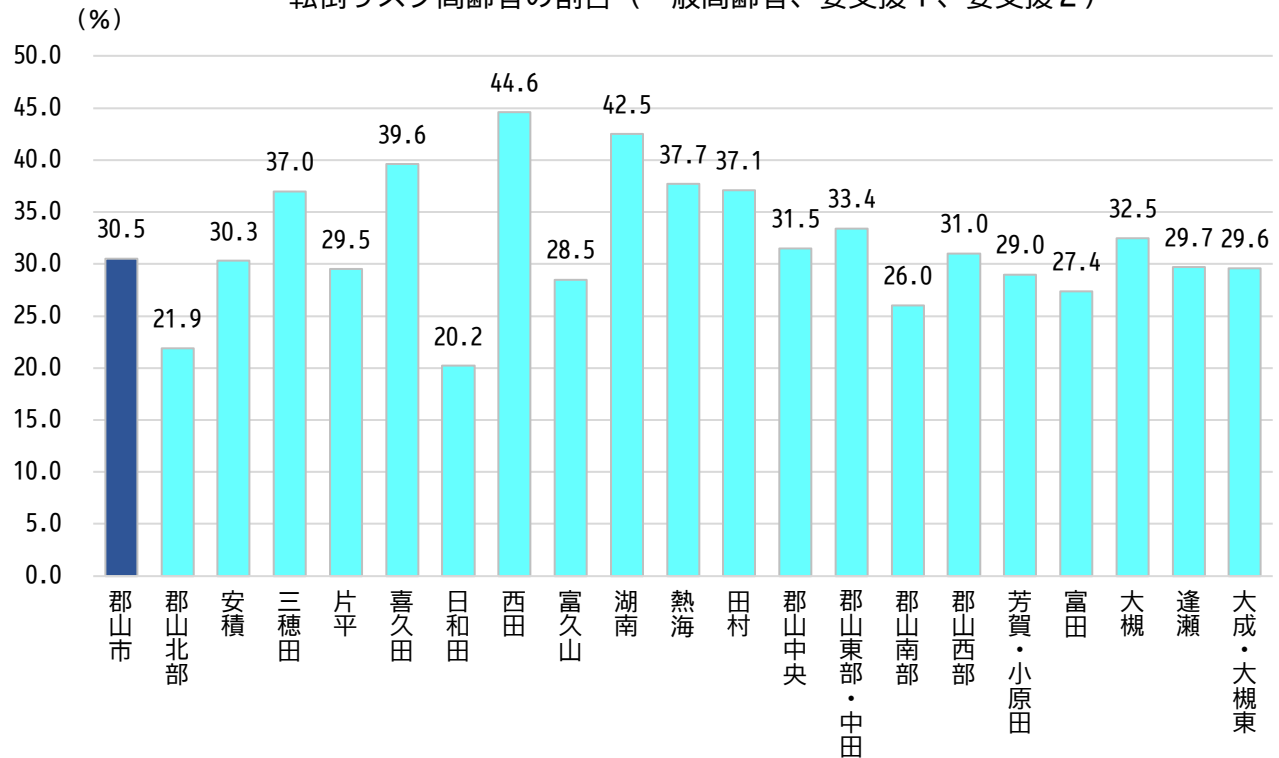


IADLが低い高齢者の割合は、当該地域内の「IADLが低い高齢者」（推計値）を、当該地域内の「要支援2以下の高齢者数」で除したものを意味します。

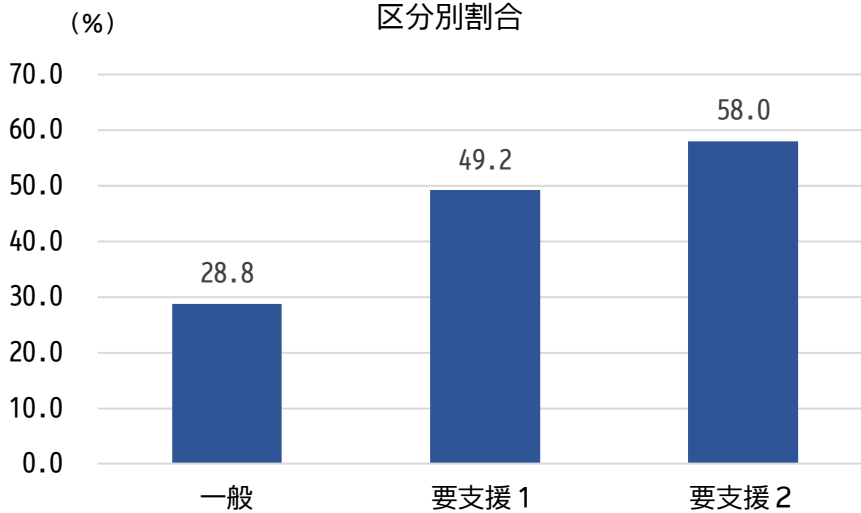
- 下記の設問・選択肢を選択した場合を1点とし、3点以下で該当
- 問4（4）バスや電車を使って1人で外出していますか（自家用車でも可）
 「1.できるし、している」or「2.できるけどしていない」
- 問4（5）自分で食品・日用品の買物をしていますか
 「1.できるし、している」or「2.できるけどしていない」
- 問4（6）自分で食事の用意をしていますか
 「1.できるし、している」or「2.できるけどしていない」
- 問4（7）自分で請求書の支払いをしていますか
 「1.できるし、している」or「2.できるけどしていない」
- 問4（8）自分で預貯金の出し入れをしていますか
 「1.できるし、している」or「2.できるけどしていない」

8. 転倒リスク高齢者の割合【暫定版】

転倒リスク高齢者の割合（一般高齢者、要支援1、要支援2）



区分別割合



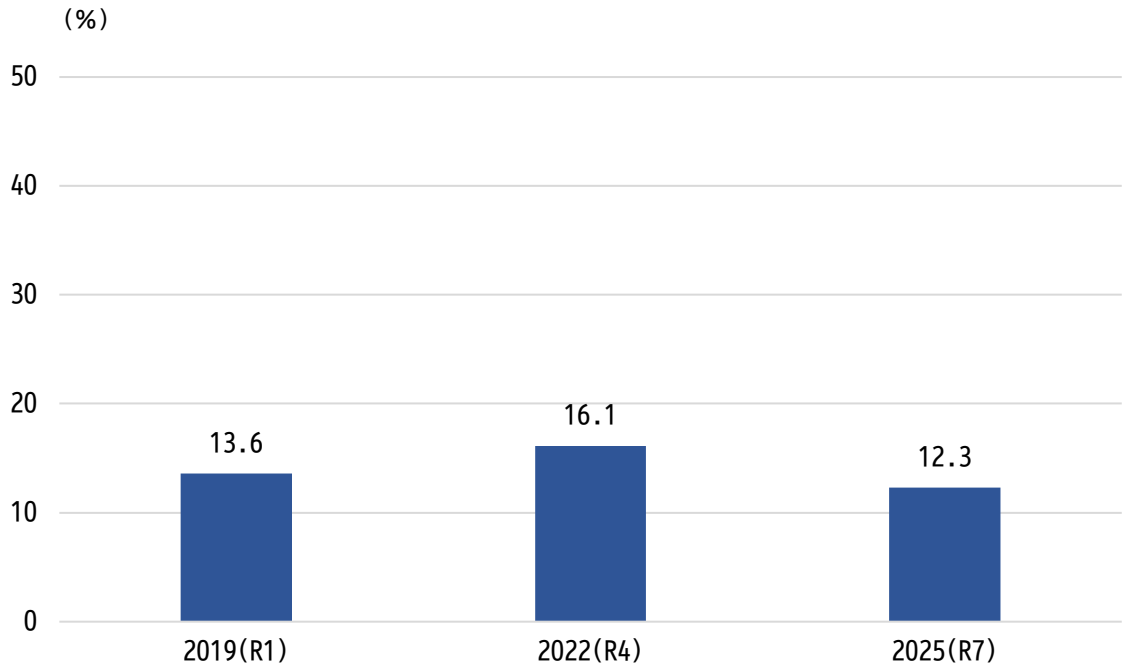
転倒リスク高齢者の割合は、当該地域内の「転倒リスク高齢者」（推計値）を、当該地域内の「要支援2以下の高齢者数」で除したものを意味します。

問2（4）過去1年間に転んだ経験がありますか

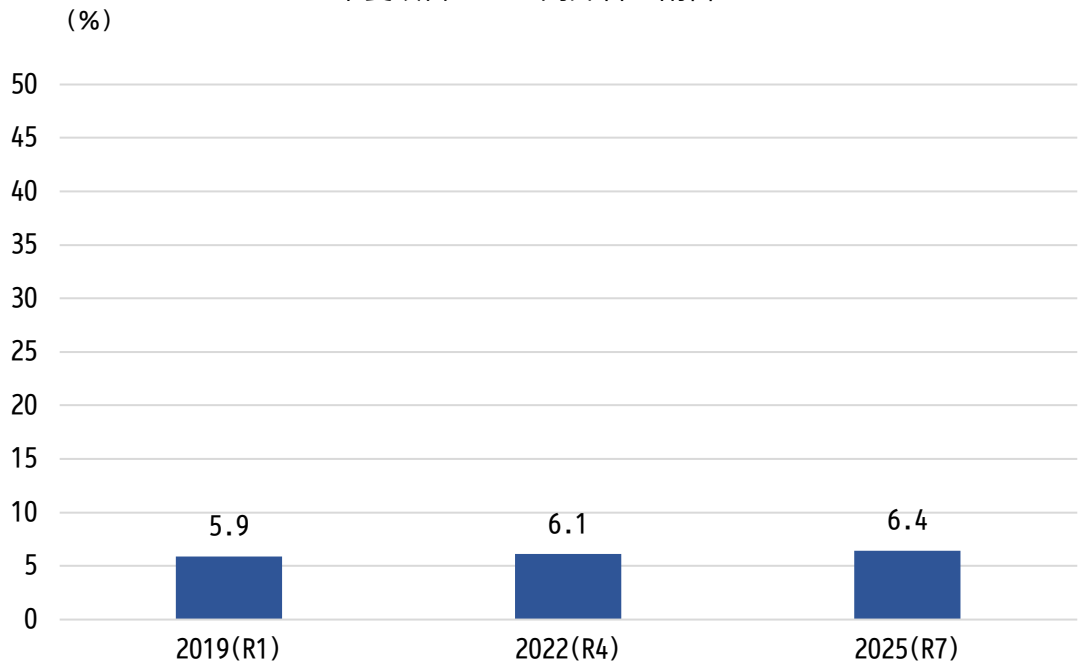
「1.何度もある」or「2.1度ある」に該当する場合は該当

9. 2019年度・2022年度調査結果との比較【暫定版】①

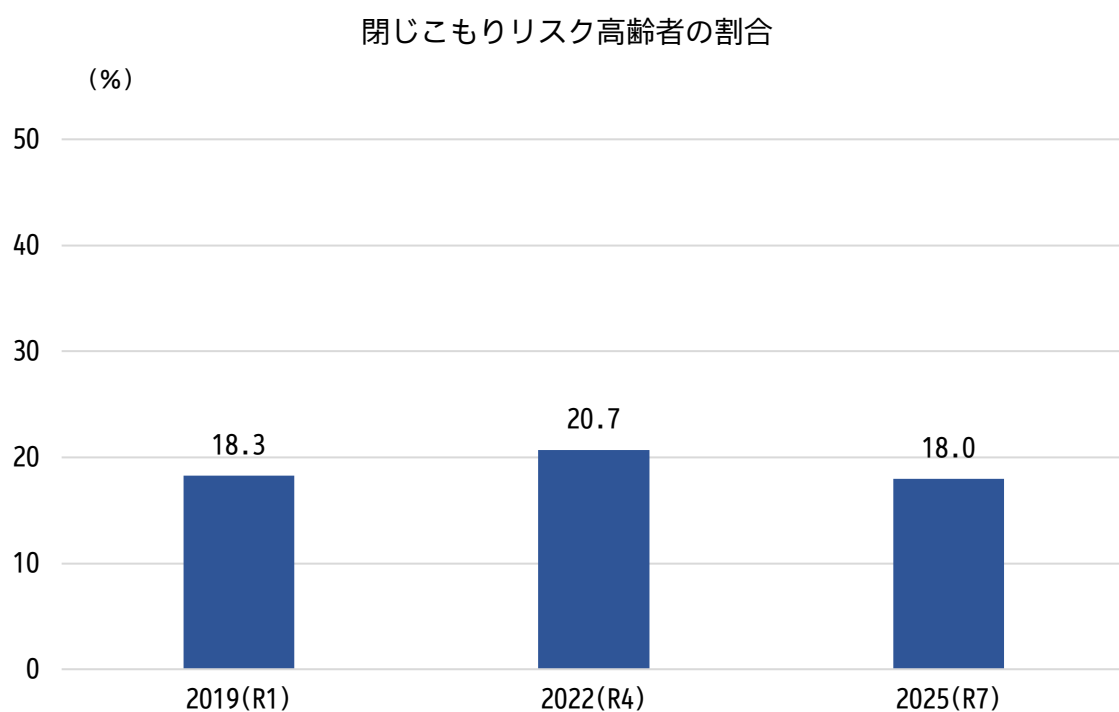
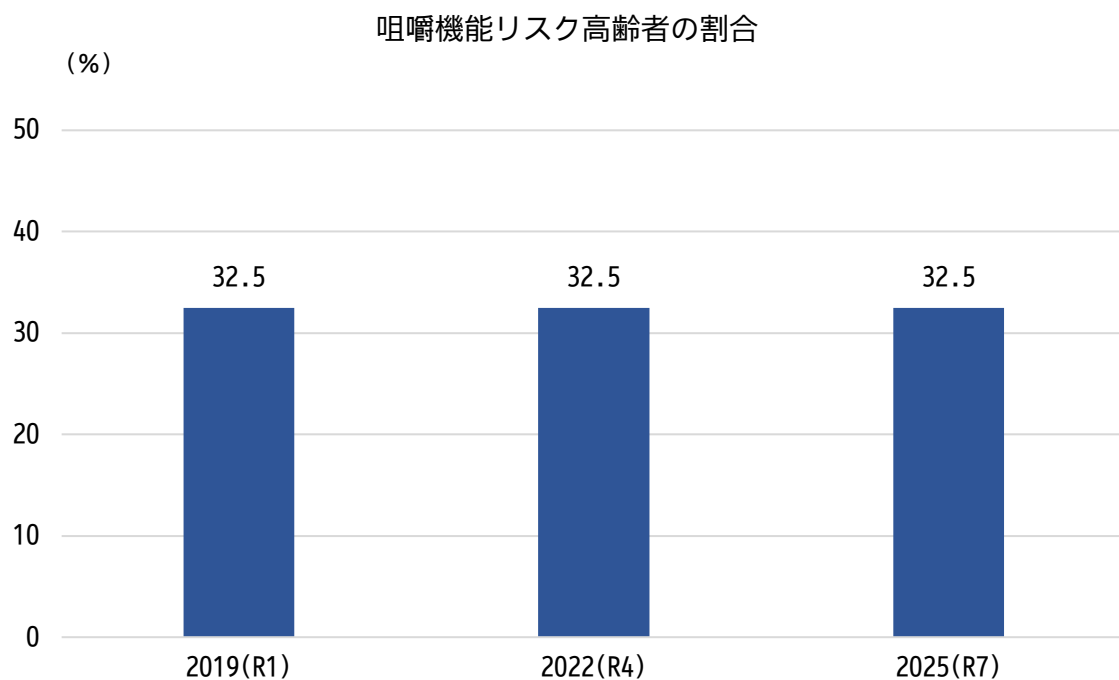
運動器機能リスク高齢者の割合



栄養改善リスク高齢者の割合

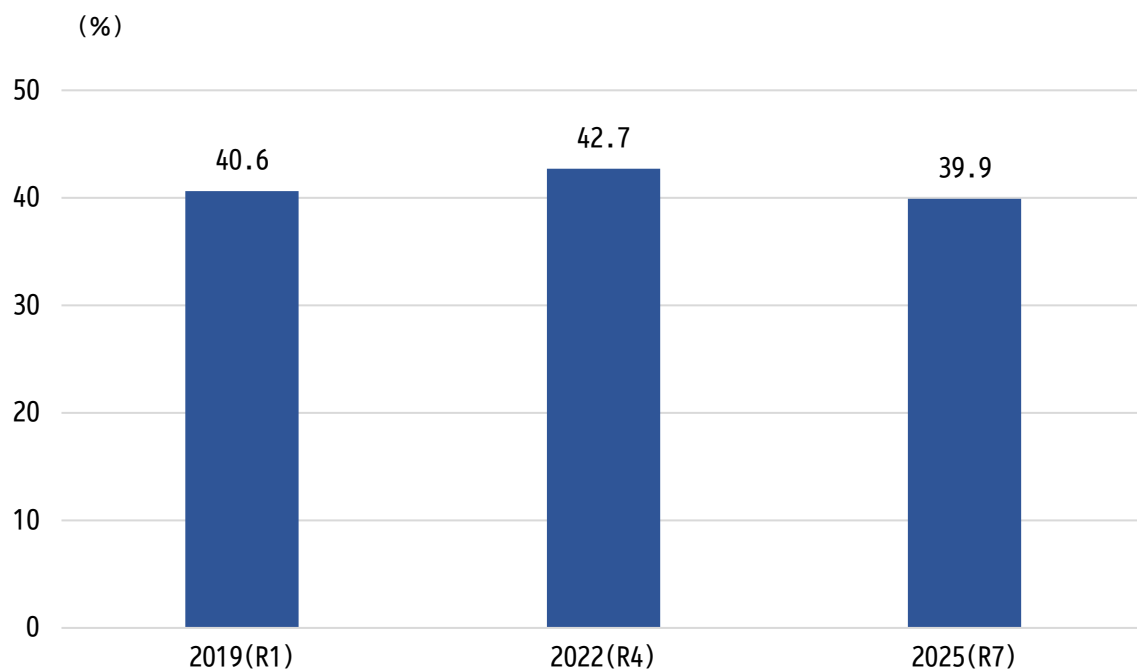


9. 2019年度・2022年度調査結果との比較【暫定版】②

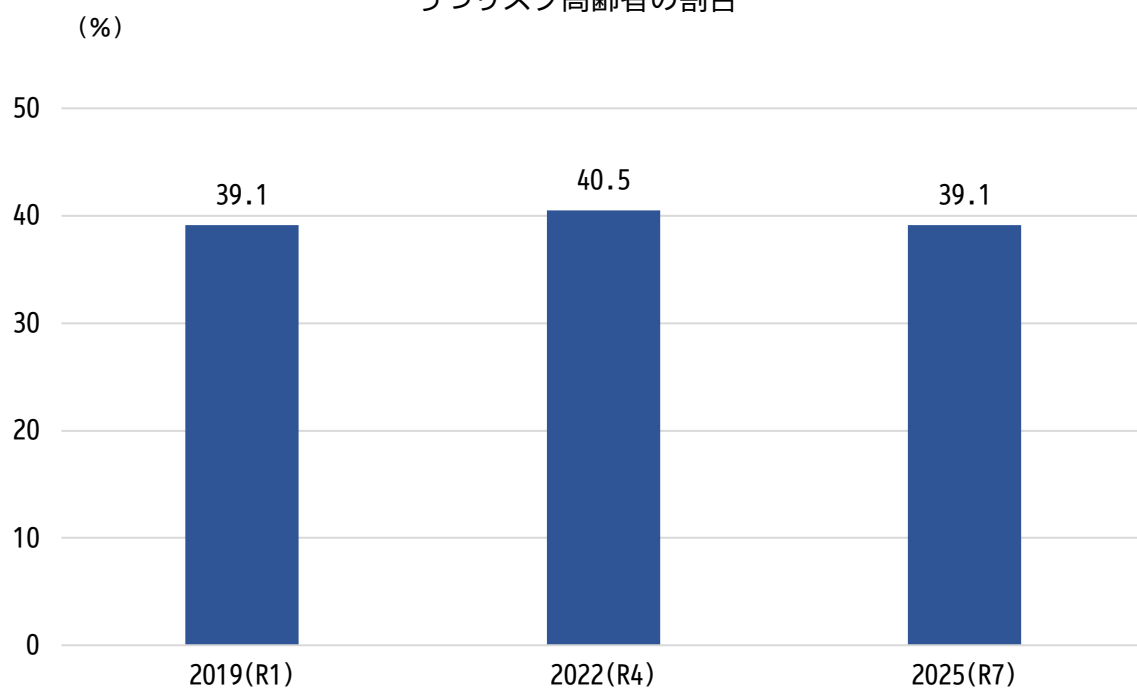


9. 2019年度・2022年度調査結果との比較【暫定版】③

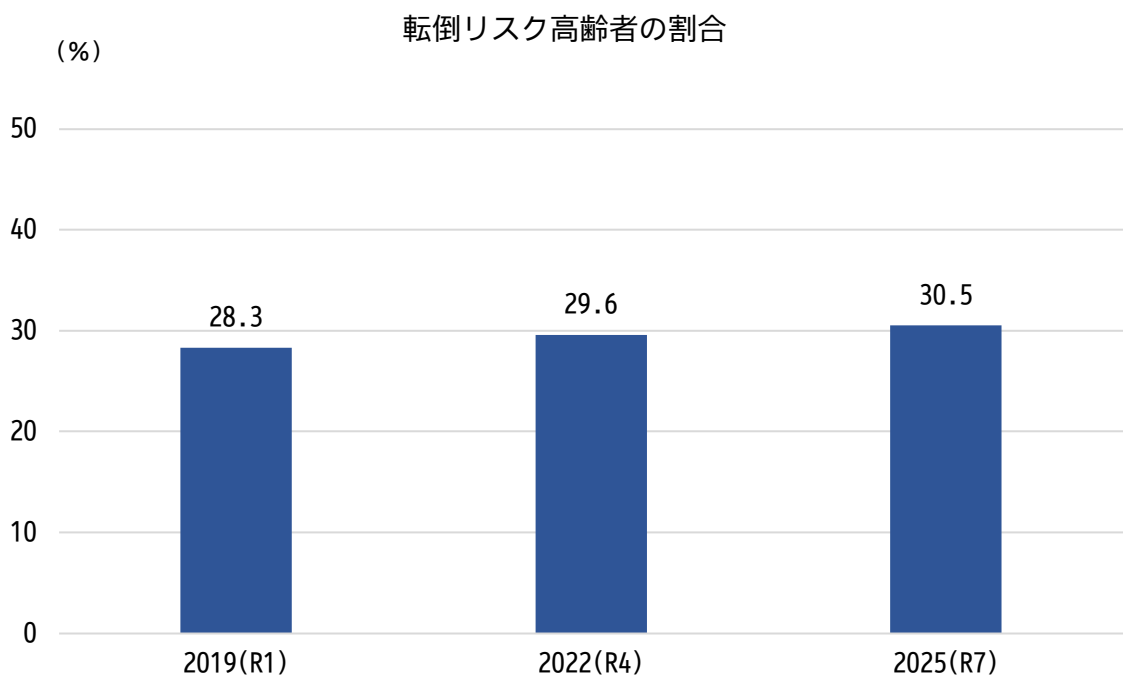
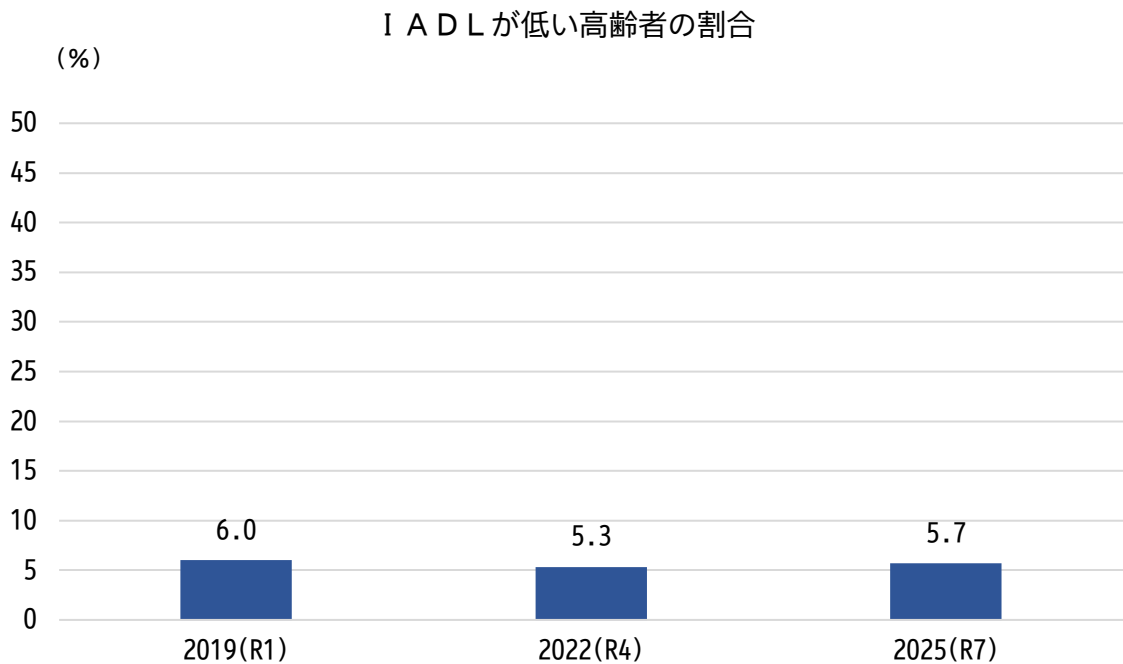
認知症リスク高齢者の割合



うつリスク高齢者の割合



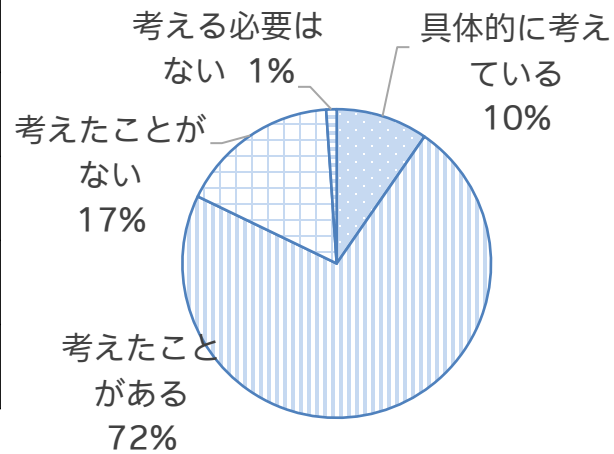
9. 2019年度・2022年度調査結果との比較【暫定版】④



10. 人生の最終段階における医療・介護の在り方について ①

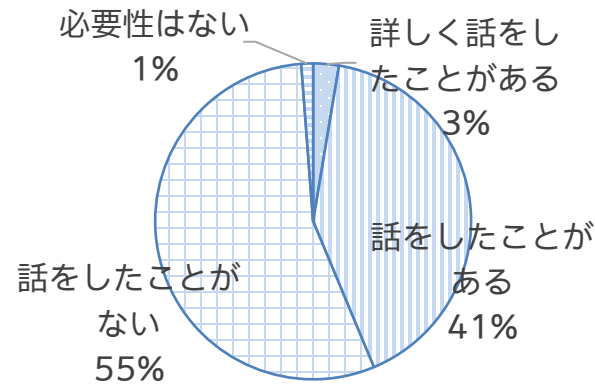
(1) 人生の最終段階における医療・介護について考えたことがありますか

| 選択肢 | 回答数 |
|------------------|--------|
| 1. 具体的に考えている | 177人 |
| 2. 考えたことがある | 1,333人 |
| 3. 考えたことがない | 308人 |
| 4. 考える必要はないと思ってる | 20人 |
| 計 | 1,838人 |



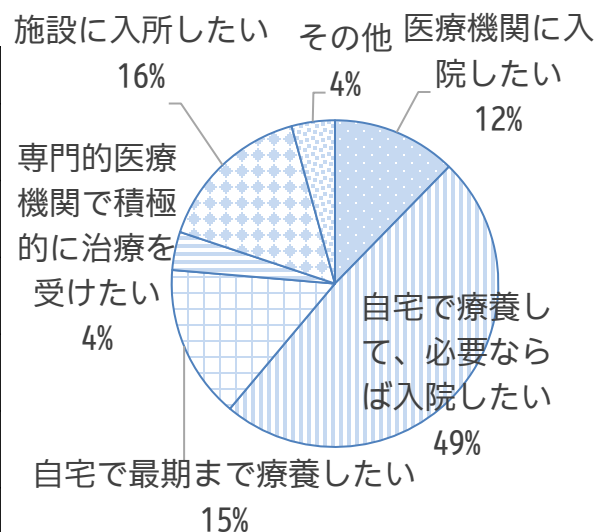
(2) 人生の最期について、家族等や医療介護関係者と話をしたことはありますか

| 選択肢 | 回答数 |
|--------------------|--------|
| 1. 詳しく話をしたことがある | 48人 |
| 2. 話をしたことがある | 752人 |
| 3. 話をしたことがない | 1,008人 |
| 4. 話をする必要はないと思っている | 22人 |
| 計 | 1,830人 |



(3) 人生の最期はどのように迎えたいですか

| 選択肢 | 回答数 |
|------------------------|--------|
| 1. 医療機関に入院したい | 224人 |
| 2. 自宅で療養して、必要ならば入院したい | 889人 |
| 3. 自宅で最期まで療養したい | 277人 |
| 4. 専門的医療機関で積極的に治療を受けたい | 69人 |
| 5. 施設に入所したい | 284人 |
| 6. その他 | 78人 |
| 計 | 1,821人 |

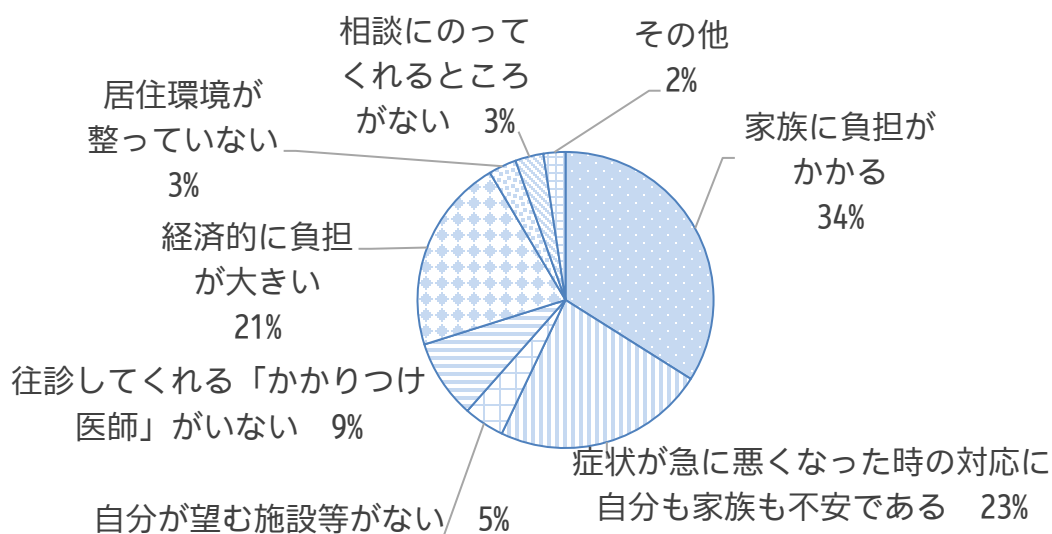


10. 人生の最終段階における医療・介護の在り方について ②

(4) (3) で望んだことで不安に感じていることはなんですか（複数選択）

| 選択肢 | 回答数 |
|-------------------------------|--------|
| 1. 家族に負担がかかる | 1,046人 |
| 2. 症状が急に悪くなった時の対応に自分も家族も不安である | 713人 |
| 3. 自分が望む施設等がない | 137人 |
| 4. 往診してくれる「かかりつけ医師」がない | 265人 |
| 5. 経済的に負担が大きい | 657人 |
| 6. 居住環境が整っていない | 94人 |
| 7. 相談にのってくれるところがない | 95人 |
| 8. その他 | 74人 |

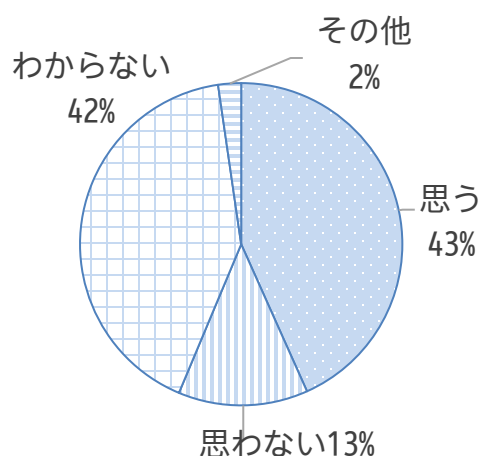
計 3,081人



(5) 万が一に備えて、エンディングノートを作成したいと思いますか

| 選択肢 | 回答数 |
|----------|------|
| 1. 思う | 792人 |
| 2. 思わない | 238人 |
| 3. わからない | 757人 |
| 4. その他 | 42人 |

計 1,829人

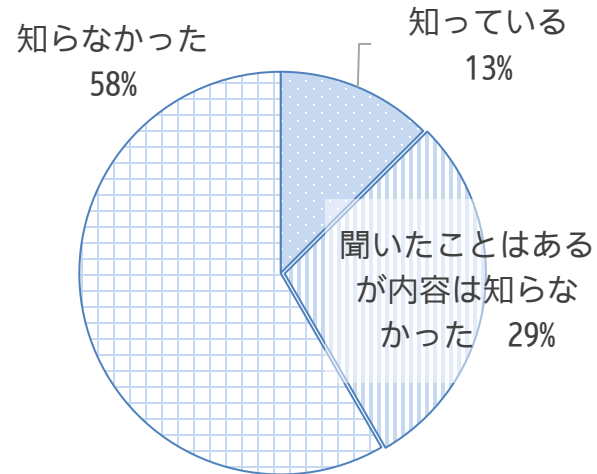


10. 人生の最終段階における医療・介護の在り方について ③

(6) アドバンス・ケア・プランニング（ACP）を知っていましたか

| 選択肢 | 回答数 |
|-----------------------|--------|
| 1. 知っている | 231人 |
| 2. 聞いたことはあるが内容は知らなかった | 537人 |
| 3. 知らなかった | 1,076人 |

計 1,844人



(7) アドバンス・ケア・プランニング（ACP）は必要と思いますか

| 選択肢 | 回答数 |
|------------------|------|
| 1. 必要である | 613人 |
| 2. どちらかといえば必要である | 743人 |
| 3. 必要はない | 57人 |
| 4. わからない | 431人 |

計 1,844人

